

I 履修方法

1 卒業の要件

① 修業年限

修業年限を2年とする。

2年間で卒業の要件に定める単位を修得できない場合は年限を延長することができる。

ただし、在学年数は、休学期間を除いて4年を超えることはできない。

② 卒業までに修得すべき単位数

本学では授業科目を共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の3つに区分しており、定められた履修方法に従って単位を修得し、この3区分を通して62単位以上を修得しなければならない。また、本学科では科目区分ごとに修得すべき最低単位数を設定している。

卒業単位数	科目区分	単位数	特記事項
62単位以上	共通教育科目	4単位以上	共通教育科目は『基礎教養科目群』、『ジェンダー科目群』、『キャリアデザイン科目群』、『言語・情報科目群』、『短大・初年次ゼミ』、『単位互換協定科目』の中から4単位以上を修得すること。
	基礎教育科目	12単位	
	専門教育科目	31単位以上	

(注) 1. 教職課程科目(教育の基礎的理解に関する科目等の一部科目・教職基礎科目の「日本国憲法」)、図書館司書課程科目(武庫川女子大学の科目等履修科目)の単位を修得した場合、合計で上限10単位まで卒業に必要な単位数に含める。

2. 単位互換協定に基づき、西宮市大学交流センターにおいて単位を修得した場合、その単位は共通教育科目の単位として認定される。

2 取得できる学位 短期大学士(健康・スポーツ学) ※ ()内は専攻分野

3 履修登録単位数の上限(キャップ制)

履修した科目について十分な学修時間を確保し、学修した内容を真に身につけることを目的として、学科ごとに1年間及び1学期間に履修登録できる単位数の上限を年間50単位未満、1学期間25単位以下と定められており^(注1)、これを「キャップ制」という。上限の単位数を超える履修登録は認められない。ただし、資格課程科目^(注2)、学外実習科目^(注3)、単位認定科目(例:西宮市大学共通単位講座等)、再履修科目、卒業非算入科目(卒業要件単位に含まれない科目)は、キャップ制の対象となる科目に含まれないため、上限単位数を超えて履修登録することができる。

1年間及び1学期間に履修登録できる単位数に上限があるため、1年次から確実に単位を修得していくことが大切である。履修便覧には、卒業までに、どのような科目をどれだけ履修しなければならないか、資格取得に必要な科目や履修に関する注意事項等が記載されている。

履修便覧を十分に読み、1年次からしっかりした履修計画を立てて履修登録を行うこと。

なお、2年次の履修登録時までの累積GPA^(注4)が3.00以上の学生は、当該学期については30単位まで履修登録することができる。

(注1)通年科目は単位数を半分に分割し、学期ごとに加算される。

(注2)教職課程科目(教育の基礎的理解に関する科目等の一部科目・教職基礎科目の「日本国憲法」)、図書館司書課程科目

(注3)基礎教育科目・専門教育科目の科目形態欄に「外」と表記されている科目のことをいう。

(注4)累積GPAとは、入学時からの履修登録した科目のうち、卒業非算入科目を除く科目の成績の平均を数値で表したものの。

4 資格課程科目について

共通教育科目や基礎教育科目・専門教育科目とは別に、免許・資格を取得するために必要な講義や実習・演習といった授業科目を資格課程科目として開講している（下の①）。

① 図書館司書課程科目 93頁参照

5 その他

学科資格は、学科の基礎教育科目・専門教育科目一覧で確認すること。

II 共通教育科目・基礎教育科目・専門教育科目

1 共通教育科目

共通教育は、歴史的に蓄積された思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の修得、真摯な学びと実践を通じ、思いやりの心と豊かな感性を持つ自律的な個人の確立を目指している。

さらに、専門教育との有機的な連携に努力し、卒業後、様々な分野で社会をリードする女性を育成することを目的としている。

この目的のために、以下に示された5つの「MW教養コア」について、バランスのとれた学修と研鑽に努力すること。

MW 教 養 コ ア	1	人文、社会、自然の各分野における人間理解に関する広い知識と学ぶ態度の修得
	2	心身の健康のための運動習慣の形成と生命の尊さや倫理に関する知識・態度の向上
	3	ジェンダーの視点の理解と主体的な判断力・行動力の獲得
	4	自らの生涯にわたるライフデザインに資するキャリア形成能力の育成
	5	異文化を理解し、グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識の修得

なお、共通教育科目は、年度ごとに一部変更があるので、当年度配布される『共通教育履修ガイドブック』に従って履修すること。

【注意】共通教育科目は再試験を行わない。

共通教育科目の構成

基 礎 教 養 科 目 群	人 文 科 学 科 目	言語、行動、習慣、知恵、思考さらには文学、歴史、芸術、哲学など人間の文化全般について学ぶ。それにより、人間とは何か、人間としていかに生きるべきか、人間の本質を考える力を養う。
	社 会 科 学 科 目	人間は集団・社会を形成し、その社会生活を営むために必要な生活習慣・様式、制度などが作られている。それらの成り立ち・仕組みを学びそれらに係る諸問題にも目を向け、よりよい社会を作り上げる力を養う。
	自 然 科 学 科 目	生命や身の回りの自然現象や自然の成り立ち、環境に着眼し、検証結果を整理し、新たな法則・知見を導き出す過程を理解する。また自然観を広げ、真理追求に必要な客観的な考え方、論理的に展開する基礎を学ぶ。
	国 際 理 解 科 目	諸外国の文化、政治、経済の実情を知り、文化・価値観の多様性を学ぶ。また日本との比較などを通じ、国際協力や国際協調などグローバルな視点で物事・事象を捉える力を養う。
	現 代 ト ピ ッ ク 科 目	今まさに、国内のみならず全世界で話題となっている事象を取り上げ、様々な視点・観点からその価値を知り、考察を深める。
ジ ェ ン ダ ー 科 目 群		男女共同参画時代を迎え、過去から現在に至る性差に関する諸問題について多面的に学修する。その中で、これまでの伝統的価値である「女らしさ」、「男らしさ」や性別役割分業観を問い直す。
キ ャ リ ア デ ザ イン 科 目 群		自分を見つめ、自らの夢の実現のために、今何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また社会人に必要なビジネスマナーやコミュニケーションスキルを磨き、企業の仕組みや職業などの知識を学ぶ。
言 語 ・ 情 報 科 目 群	言 語 リ テ ラ シ ー 科 目	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、イタリア語、スペイン語、ハングルなどの各国語について「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実践を通じ「言語リテラシー」を修得する。
	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	情報機器を使って、様々な学習活動や社会生活で活用するための知識・技能など「情報リテラシー」を修得する。
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 目 群	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 科 目	健康の概念や健康を保つための知識（栄養・薬・病気の予防など）を学ぶとともに、運動（スポーツ）が心身に及ぼす効果・影響などを科学的に検証することにより、健康な身体を維持する考え方や方法を学ぶ。
	ス ポ ー ツ 実 技 科 目	様々なスポーツ実技を通して、その種目のルールや運動の特性を知り、身体を動かす楽しみや充実感を味わい、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
短大・初年次ゼミ	学 び 発 見 ゼ ミ	様々なテーマについて、ゼミ仲間でのディスカッション、グループワーク、演習、プレゼンテーションなどを通じ、主体的に学び、関わる力を養う。
単 位 互 換 協 定 科 目		西宮市内の大学が連携して、様々なテーマの講座を提供している。

2 基礎教育科目・専門教育科目

(1) 履修について

2年間で修得しなければならない単位数については、I履修方法で述べたとおりである。ここでは健康・スポーツ学科において、2年間で履修できる基礎教育科目・専門教育科目を示す。

履修は原則として所属学科において開講されている科目についてのみ認められ、他学科の開講科目を履修することは認められない。また、履修上の制限や履修上留意しなければならないことがあり、それらを(注)として示してある。その注意事項を十分確認して誤りなく履修していくこと。

(2) 一覧表について

ア 科目番号について

科目番号は、その科目の学修の段階や順序、性質等を表し、教育課程の体系性が示されている。

(科目番号 付与ルール)

【健康・スポーツ学科】

- 〈1〉 1科目につき1番号が付与されている。
- 〈2〉 先頭の番号は、入学年度の西暦の下2ケタを表す。
- 〈3〉 英字①は大学院博士(D)、大学院修士(M)、大学(U)、短大(J)、共通(G)等を表す。
- 〈4〉 英字②③④は所属(研究科、専攻科、学科、資格課程)及び科目分類を表す。
- 〈5〉 数字①は履修基準年次(学年)を表す。
- 〈6〉 数字②はコースを表す(下記の表を参照のこと)。
- 〈7〉 数字③④は、所属学科、分類内における通し番号を表す。

英字④ 科目分類

科目
A：基礎教育科目
B：専門教育科目

数字②コース

コース番号
0：1、2以外
1：教職コース
2：ヘルスケアコース

(例：健康・スポーツ学科 2年次開講 教職コース (中体)資格科目 「学校保健」の科目番号)



イ 科目形態欄について

科目形態欄の科目形態は下記の意味を示す。

実	実験・実習・実技科目
外	学外実習科目

ウ 科目必修欄について

必	必修科目（この科目の単位を修得しなければ卒業できない）
選必	選択必修科目（指定された科目群の中から決められた単位数以上修得しなければ卒業できない）

エ 資格欄について

表中、資格欄の記号は下記の意味を示す。

(中体)	中学校教諭二種免許状（保健体育）取得のための科目
(健者)	健康運動実践指導者受験資格取得に必要な科目
(A)	エアロビックダンスエクササイズインストラクター資格取得に必要な科目
(レ)	レクリエーション・インストラクター資格取得に必要な科目
(スポレ)	スポーツ・レクリエーション指導者資格取得に必要な科目
(スポ協 I・II)	(公財)日本スポーツ協会 (JSPO) 公認スポーツ指導者制度「共通科目 I と共通科目 II」の修了に必要な科目
(障初)	障がい者スポーツ指導者（初級障がい者スポーツ指導員）資格取得に必要な科目

※（公財）日本スポーツ協会（JSPO）公認資格についての詳細は47頁を参照のこと。

オ 開講期について

表中の各年次、前・後・特別学期欄の下記印はその学期に開講されることを表す。ただし、不規則な開講となる場合がある。また、開講科目、開講期については変更されることがある。

○	週 1 回開講
◎	週 2 回又は週 1 回 2 時限連続開講

健康・スポーツ学科

◆ 基礎教育科目（学科共通）

科目番号		科目名	単位数	形態	必修	資格	第1年次			第2年次		
							前期	後期	特別期	前期	後期	特別期
20JHSA	1001	初期演習 I	1		必		○					
	1002	初期演習 II (健康・スポーツ)	1		必			○				
	1003	健康・スポーツ科学論	2		必	(A)(健者)	○					
	1004	スポーツの文化・歴史	2		必	(中体) (スポ協 I・II)	○					
	1005	情報リテラシー	2		必		○					
	1006	英語会話 I	2		必		◎					
	1007	英語会話 II	2		必			◎				

◆ 専門教育科目（学科共通）

20JHSB	1008	運動器の解剖と機能	2		必	(A)(健者)	○					
	1009	運動生理学	2			(中体)(A) (健者)	○					
	1010	スポーツ心理学	2			(中体)(A)(健者) (スポ協 I・II)	○					
	1011	スポーツ運動学	2			(中体)		○				
	1012	体育原理	2			(中体)		○				
	2013	スポーツ社会学	2			(中体) (スポ協 I・II)						○
	2014	スポーツ医学	2			(A)(健者) (スポ協 I・II)					○	
	2015	スポーツトレーニングの科学	2			(A)(健者) (スポ協 I・II)					○	
	2016	バイオメカニクス	2			(健者)					○	
	2017	スポーツ栄養学	2			(A)(健者) (スポ協 I・II)					○	
	2018	公衆衛生学	2			(中体)						○
	2019	発育発達・老化論	2			(A)(健者) (スポ協 I・II)					○	
	2020	スポーツ指導論	2			(スポ協 I・II)						○
	2021	スポーツ行政・法規	2			(スポ協 I・II)						○
	2022	スポーツ経営管理学	2			(中体) (スポ協 I・II)						○
	2023	レクリエーション論	2			(レ)(スポレ)					○	
	2024	レクリエーション指導法演習	1			(レ)(スポレ)					○	
	2025	レクリエーション指導法実習	1	実		(レ)(スポレ)						○
	2026	パラスポーツ論	2			(障初) (スポ協 I・II)						○
	1027	救急処置演習	1		必	(中体)(A) (健者)	○					
	2028	体力の測定評価演習	2			(A)(健者)					○	
	1029	健康・スポーツキャリア入門	2				○					
	1030	教職入門	2			(中体)	○					
	1031	教育原理	2			(中体)	○					
	1032	体操	1		必	(中体)(レ) (スポレ)	○					
1033	スイミング	1		必	(中体)(レ) (スポレ)(健者)	○						
1034	ダンス I	1		必	(中体)(レ) (スポレ)	○						
1035	海外の健康・スポーツの研究	2	外			○				(○)		

科 目					資格	第 1 年 次			第 2 年 次		
科目番号	名 称	単位数	形態	必修		前期	後期	特 別 学 期	前期	後期	特 別 学 期
20JHSB	1036	実 践 英 会 話	2	外		○		(○)			
	1037	グ ローバルフィットネス	1	外		○		(○)			
	1038	グ ローバルヘルスアンドキャリア	1	外		○		(○)			
	1039	フィットネスクラブマネジメント	1			(集中) ○					
	1040	マ リ ン ス ポ ー ツ 実 習	1	外	選 必 2 単 位 以 上	○		(レ)(スポレ)			
	1041	ス ノ ー ス ポ ー ツ 実 習	1	外		(レ)(スポレ)			○		
	2042	キ ャ ン プ 実 習	1	外		(レ)(スポレ)				○	
	2043	健 康 ・ ス ポ ー ツ 実 践 研 究	4			必	(レ)(スポレ)				○

◆ 専門教育科目（教職コース）

20JHSB	2101	学 校 保 健	2					(中体)			○		
	1102	器 械 運 動	1	実				(中体)		○			
	1103	ト ラ ッ ク ア ン ド フ ィ ー ル ド	1	実				(中体)		○			
	1104	バ レ ー ボ ー ル	1	実				(中体)(レ) (スポレ)		○			
	1105	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	1	実				(中体)(レ) (スポレ)		○			
	2106	ハ ン ド ボ ー ル	1	実				(中体)(レ) (スポレ)			○		
	2107	柔 道	1	実	選 必 2 単 位 以 上			(中体)(レ) (スポレ)			○		
	2108	剣 道	1	実		(中体)(レ) (スポレ)						○	
	1109	ダ ン ス II	1	実		(中体)			○				
	1110	保 健 体 育 科 指 導 法 I	2					(中体)		○			
	1111	保 健 体 育 科 指 導 法 II	2					(中体)		○			
	1112	保 健 体 育 科 指 導 法 III	1					(中体)		○			
	1113	教 育 心 理 学	2					(中体)		○			
	1114	教 育 方 法 の 理 論 と 技 術	2					(中体)		○			
	1115	生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導	2					(中体)		○			
	2116	教 育 相 談 の 理 論 と 方 法	2					(中体)				○	
	1117	教 育 実 習 事 前 指 導 (中)	1					(中体)		○			
	2118	教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 (中)	1					(中体)			○	○	
	2119	教 職 実 践 演 習 (中)	2					(中体)				○	○

◆ 専門教育科目（ヘルスケアコース）

20JHSB	1201	健 康 ・ ス ポ ー ツ 運 動 処 方	2		選 必 2 単 位 以 上	(A)(健者)		○				
	1202	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 論	2					○				
	2203	ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス 論	2							○		
	1204	テ ー ピ ン グ ・ マ ッ サ ー ジ	1	実	選 必 4 単 位 以 上	(レ)(スポレ)		○				
	1205	ボ デ ィ ワ ー ク	1	実		(レ)(スポレ)		○				
	1206	ウ ォ ー ク ア ン ド ラ ン	1	実		(レ)(スポレ)		○				
	1207	ユ ニ バ ー サ ル ト レ ー ニ ン グ	1	実		(レ)(スポレ)		○				
	2208	エ ア ロ ビ ッ ク ダ ン ス	1	実		(A)(健者) (レ)(スポレ)				○		
	2209	ア ク ア エ ク サ サ イ ズ	1	実		(健者)(レ) (スポレ)				○		

科 目					資格	第 1 年 次			第 2 年 次		
科目番号	名 称	単位数	形態	必修		前期	後期	特 別 期	前期	後期	特 別 学 期
20JHSB	1210	フ ィ ッ ト ネ ス 指 導 法	2	選 必 4 単 位 以 上	(A)(健者)(レ) (スポレ)		○				
	1211	コ オ ー デ ィ ネ ー シ ョ ン 指 導 法	2		(レ)(スポレ)		○				
	1212	ボ ー ル プ レ イ 指 導 法	2		(レ)(スポレ)		○				
	1213	キ ッ ズ 体 操 指 導 法	2		(レ)(スポレ)		○				
	2214	リ ズ ム ダ ン ス 指 導 法	2		(レ)(スポレ)				○		
	2215	パ ラ ス ポ ー ツ 指 導 法	2		(障初)(レ) (スポレ)					○	
	2216	エ ア ロ ビ ッ ク ダ ン ス 指 導 法	2		(A)(レ) (スポレ)					○	

- (注)1 ()の学期に開講されることがある。
- (注)2 教職コース及びヘルスケアコースは、1年次後期より実施する。
- (注)3 1年次後期「初期演習Ⅱ(健康・スポーツ)」及び2年次通年「健康・スポーツ実践研究」は、教職、コーチング、キッズ、高齢者・障がい者、ヘルスケアの5領域からなり、連続したゼミで学ぶ。
- (注)4 「実践英会話」「グローバルフィットネス」「グローバルヘルスアンドキャリア」は、海外研修3週間プログラムにおいて、海外で開講する科目であり、1年次で履修すること。
- (注)5 「海外の健康・スポーツの研究」は、1年次で履修すること。
- (注)6 中学校教諭二種免許状(保健体育)の科目には(中体)と付記しており、49頁「教科及び教科の指導法に関する科目」、50頁「教育の基礎的理解に関する科目等」と対応している。その他、74～89頁「免許・資格(全学科対象)Ⅰ教職課程」に記載されている「教職基礎科目」(『日本国憲法』等)も必要。資格取得のためには、各必要単位数以上を修得すること。
- (注)7 ADI(エアロビックダンスエクササイズインストラクター)受験希望者は、指定された専門教育科目の他に、共通教育科目の「スポーツ実技(スリムエアロ)」、「スポーツ実技(ダンスエアロ)」を履修することが望ましい。
- (注)8 障がい者スポーツ指導者(初級障がい者スポーツ指導員)資格取得希望者は、指定された専門教育科目の他に、共通教育科目の「スポーツ実技(遊びと障害)」、「障害者とスポーツ」を履修することが望ましい。
- (注)9 フィットネスクラブマネジメント技能検定3級受験希望者は、「フィットネスクラブマネジメント」(1年次前期開講集中講義)を必ず履修すること。3級検定試験(学科試験、実技試験)は、その年の12月に実施され、受験手続きについては、10月上旬に団体申込みとして学科でまとめる予定である。詳細については、授業時に連絡する。
- (注)10 (公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツ指導者資格に必要な条件については、下記を参照すること。

(公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツ指導者資格に必要な条件

資 格 名 称		本学で受講できる カリキュラム		学外での受講を要するカリキュラム
		共通科目		
		I	II	
スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー	◎		(スポ協Ⅰ・Ⅱ)
競技別指導者資格	コーチ1	◎		(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:20h以上
	コーチ2	◎	◎	(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:40h以上
	コーチ3/教師	◎	◎	(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 共通科目Ⅳ:150h以上 専門科目:60h以上
	コーチ4/上級教師	◎	◎	(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 共通科目Ⅳ:151h以上 専門科目:80h以上
フィットネス系資格	ジュニアスポーツ指導員	◎		(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:40h
	スポーツプログラマー	◎	◎	(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:63h
メディカル・コンディショニング資格	アスレティックトレーナー	◎	◎	(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 共通科目Ⅲ:150h 専門科目:600h
マネジメント資格	アシスタントマネジャー	◎		(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:35h以上
	クラブマネジャー	◎		(スポ協Ⅰ・Ⅱ) 専門科目:167.5h以上

◎:本学の所定の科目を受講することで講習会及び試験が免除される。

- (注)11 (レ)はレクリエーション・インストラクター取得、(スポレ)はスポーツ・レクリエーション指導者取得のための科目すべてに付いている。「選必1」、「選必4」の(レ)・(スポレ)については、卒業要件を満たす単位数を修得すること。

(注)12 資格申請手続きについて

資格名称	申請手続	資格試験 ※学外機関が実施	資格証等の授与
健康運動実践指導者	① MUSESで事前に単位の修得状況を確認する。 ② 2年次に学科が実施する説明会に出席する。 ③ 認定試験受験申込手続きを行う。 (受験料・登録料が必要)	資格認定試験 (実技試験及び筆記試験) 受験結果(資格取得者)発表 2年次3月	資格証明書は、卒業後に健康・体力づくり事業財団より自宅に送付される。
障がい者スポーツ指導者 (初級障がい者スポーツ指導員)	① 2年次に資格取得の申請を認められる。 ② MUSESで事前に単位の修得状況を確認する。 ③ 学科が実施する申請受付の期間中に申請手続きをする。 (申請料・登録料が必要)	なし	資格認定証は、卒業式の日に配付する。
JAF A認定ライセンス (ADI:エアロビックダンスエクササイズインストラクター)	① 2年次に学科が実施する説明会に出席する。 ② 認定試験受験申込手続きを行う。	実技試験及び筆記試験 (実技評価合格の場合は、筆記試験受験料が必要) 受験結果(資格取得者)発表 2年次3月	資格認定証は日本フィットネス協会より自宅に送付される。
レクリエーション・インストラクター	① 2年次に資格取得の申請を認められる。 ② MUSESで事前に単位の修得状況を確認する。	なし	資格証明書は、卒業式の日に配付する。
スポーツ・レクリエーション指導者	③ 12月に学科が実施する説明会に出席し、申請手続きをする。 (登録料・公認料・その他事務手数料が必要)		
日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツ指導者	① MUSESで事前に単位の修得状況を確認する。 ② 2年次11月に学科が実施する説明会に出席する。 ③ 「共通科目修了証明書発行願」申請手続きをする。 (登録料が必要)	取得希望の資格に応じて講習会及び検定試験を受けること。	スポーツリーダー認定証、及び共通科目修了証明書は、卒業式の日に配付する。
教育職員免許状	「免許・資格」頁参照		

3 中学校教職課程

教職課程の履修手続き、基礎資格、「教職基礎科目」、教育目標、カリキュラム・ポリシー、履修モデル、到達目標等については、「免許・資格」Ⅰ教職課程の項を確認すること。

「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等(一部科目を除く)」は、学科の基礎・専門教育科目に置く(「基礎教育科目・専門教育科目」の表には、「資格」欄に(中体)を表示)。開講年次・開講期は「基礎教育科目・専門教育科目」表で確認のこと。ただし、卒業要件に係わる必修・選択等の区分と教職課程における区分は異なるため、各項の表の区分に従って所要単位を修得しなければならない。

1 「教科及び教科の指導法に関する科目」について(免許法施行規則第4条)

免許状取得に必要な「教科及び教科の指導法に関する科目」及びその履修方法については、以下のとおりである。

中二種免(保健体育)

	免許法施行規則に規定する科目・単位数		本学開講科目・単位数				
	科目	単位数	開講科目	単位数	中二種免 必修単位	備 考	
教科及び教科の指導法に関する科目(第二欄)	体育実技	1以上	○ 体 操	1	1		
			○ 器 械 運 動	1	1		
			○ トラックアンドフィールド	1	1		
			○ ス イ ミ ン グ	1	1		
			○ バレーボール	1	1		
			○ バスケットボール	1	1		
			○ ハンドボール	1	1		
			○ ダ ン ス I	1	1		
			○ ダ ン ス II	1	1		
			○ 柔 道	1	1		
	○ 剣 道	1					
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	「」内のいずれか1科目及び運動学で1以上	○ 体 育 原 理	2	2	体育原理	1科目 選択必修
			○ スポーツ心理学	2		体育心理学	
			○ スポーツ経営管理学	2		体育経営 管理 学	
			○ スポーツ社会学	2		体育社会学	
○ スポーツの文化・歴史			2	体 育 史			
○ スポーツ運動学			2	2	運動学(運動方法学を含む。)		
生理学(運動生理学を含む。)	1以上	○ 運 動 生 理 学	2	2			
衛生学・公衆衛生学	1以上	○ 公 衆 衛 生 学	2	2			
学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1以上	○ 学 校 保 健	2	2	小児保健、精神保健、 学校安全を含む		
		○ 救 急 処 置 演 習	1	1	救急処置を含む		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	2以上	保健体育科指導法Ⅰ	2	2			
		保健体育科指導法Ⅱ	2	2			
		保健体育科指導法Ⅲ	1				
	12以上	計	35	25			

【履修方法】

- (1) 教職必修を満たして12単位以上修得すること。
- (2) ○印を付した科目は、免許法施行規則第4条備考2に定められた「一般的包括的な内容」を含む科目である。

2 「教育の基礎的理解に関する科目等」について（免許法施行規則第4条）

免許状取得に必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」及びその履修方法については下記のとおりである。

	免許法施行規則に定める科目 左の各科目に含めることが必要な事項	修得単位 法定最低	本学の開設 授業科目	単位数	中二種免 必修単位	第1年次			第2年次			備考
						前期	後期	特別 学期	前期	後期	特別 学期	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	6	教育原理	2	2	○						
			教職入門	2	2	○						
			教育行政学概論(注1)	1	1		○					
			教育心理学	2	2		○					
			特別支援教育概論(注1)	1	1					○		
			教育課程概論(注1)	1	1					○		
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	6	道徳教育指導概論(注1)	1	1					○		
			総合的な学習の時間と特別活動(注1)	2	2					○		
			教育方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	2			○				
			生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	2			○				
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	2						○	
			教育実践に関する科目	5	教育実習事前指導(中)	1	1		○			
第五欄	教育実践に関する科目	5	教育実習	1	1					○	○	事前事後指導
			教育実習 I (中)(注1)	2	2					○	(○)(注2)	
			教育実習 II (中)(注1)	2	2					○	(○)(注2)	
			教職実践演習	2	2						○	
合計		19	計	26	26							

(注1) 学科の基礎・専門教育科目ではないが、免許を取得するために必要な科目。「免許・資格」78頁に掲載する中学校教職課程「教育の基礎的理解に関する科目等」(資格課程)科目。

(注2) (○)の学期にも開講されることがある。

【履修方法】

(1) 教職必修を満たして19単位以上を修得すること。

(2) 以下の4科目には、履修要件が適用される。

- 「教育実習 I (中)・II (中)」及び「教育実習事前事後指導(中)」履修要件(履修規程第29条)

教育実習に行く前年度までに所定の科目の単位を修得し、所属する学科の定める要件を満たしていること。学科ごとに定める所定単位、及び要件は次頁の表のとおりとする。履修可否については大学が判定を行い、結果は所属する学科より通知する。

- 「教職実践演習(中)」履修要件(履修規程第29条)

「教職実践演習(中)」履修の前年度末までに、教育実習の履修要件が充足されていること。履修可否については大学が判定を行い、結果は所属する学科より通知する。

学 科	免許 教科	教育実習を履修するための最低修得単位数				その他の要件	備 考
		各学科に開講する 基礎・専門教育科目		指導法、教育の基礎的理解に関する科目等			
		うち含むべき教 科に関する専門 的事項の科目		うち含むべき 授業科目	必 要 単位数		
健 康 ・ スポーツ学科	保健 体育	20単位 以 上	10単位 以 上	10単位 以 上	教育実習事前指導(中) 保健体育科指導法 I	1 2	

- 上表の当該科目に開講期の変更がある場合は、履修要件を満たすための最低修得単位数を増減する。
- 所属変更など、特別な事情のある者についてはこの規定に準じて別に審査する。
- 小児期の定期予防接種が終わっていない学生は、医療機関と相談の上、未接種のワクチン接種を受けておくこと。なお、実習に際しては、実習先の求めに応じ、大学が特定の感染症のワクチン接種を指示することがある。
- 「教育実習依頼説明会」に出席していること。

3 「大学が独自に設定する科目」(免許法施行規則第4条)

免許状取得に必要な「大学が独自に設定する科目」及びその履修方法については、下記のとおりである。

免許法施行規則 に規定する科目	法定最低 修得単位	算入可能な単位	履修方法
大学が独自に 設定する科目	4	①12単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」	①②の中から、 合計4単位以上 修得すること
		②19単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」	